
第 101 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2005 年 11 月 24 日(木) 16 時 00 分~17 時 00 分

場 所: 創立 30 年記念棟 3 階大会議室「常念岳」

演 者: 三谷 英夫 氏 (東北大学・名誉教授)

タイトル: 歯科矯正の源流を辿る ~ Dr. Brodie とイリノイ大学 ~

近代矯正歯科学の鼻祖である Dr. Edward H. Angle は、不正咬合の治療を行うためには一般歯科医学の知識や技術だけでは不十分であり、専門的な教育が必要であると考え、そのための教育専門学校を設立した。そこでは数多くの優れた矯正歯科専門医が養成されたが、それらのなかで Angle の理念をもっとも正しく継承する者として評価されていたのが Allan G. Brodie であった。彼は Angle の学校を卒業したあと数年を経てイリノイ大学歯学部から招請を受け、そこで Angle の理念を継承した矯正歯科専門教育プログラムをスタートさせた。このプログラムは大学院の修士課程として設置されたが、それゆえここでは単なる手技の教育にとどまらず、矯正歯科の学問的背景としての生物学とそれに基づく多くの教育研究を行った。また、優れた後進の養成を行って全米の大学に送り出し、それらがさらに優れた後進を育てるといった良循環を経て、米国の矯正歯科は現在世界をリードするに到っている。本セミナーでは、矯正歯科学に対する Brodie の理念や考え方、またどのような教育がなされたのかについて述べ、エッジワイズ法をもとにした歯科矯正の源流を辿り、かつ現在の矯正歯科専門教育の在り方を考えてみたい。

大学院歯学独立研究科長・硬組織疾患制御再建学講座 小澤 英 浩
歯科矯正学講座 栗原 三 郎